

# 村井製作所

# 将来的な企業展開を見据えて

# 新事務所を竣工

〔株〕村井製作所（本社）大阪府大阪市西区九条1-26-8。村井耕太郎社長）では、将来的な企業展開を見据えて各種取り組みをおこなっている。その一環に、段階的な建築・改築計画のもとで、第一次計画に営業・事務

と梱包・出荷業務の快適な作業環境をそれぞれ確立することを目的に、本社近隣の食堂建屋解体とともに敷地の拡張をおこない、新事務所棟を建設。刷新したロゴマークを掲げ、事務機能を本社から移転させ、6月8日

より業務が開始されている。なお、製品梱包・出荷作業は従来通り本社で続け、改築工事を今夏よりスタートする予定。

同社では、従業員の半数が20代の若手人材で構成され、永続的な企業展開および実現のための人材確保、定着化に向けて段階的な計画のもと各種取り組みを進めている。

そのような中で、本社近隣に食堂等として活用されていた建物において、隣接地が売却される話もあり、敷地の拡張および建替えプロジェクトを計画。村井社長が前職で培ったノウハウと、時代に合わせた福利厚生環境を自社の業務に適切な形で浸透・構築を目指し、営業部署が独立した事務所運用を前提に事務所棟を

設計。今後の増員計画に基づき現状の二倍の従業員が勤務可能なスペースの確保がなされているほか、職場環境も考慮することでのモチベーション向上を図っている。また、新事務所建設に合わせて刷新されたロゴマークは球体形状で、左下から中心部に掛けて三本の線が引かれている。同線がMURAIの“M”とねじ部をイメージし、それぞれ即納・別作品・追加加工および、村井製作所・顧客・社会との繋がりの意味を込めている。昨年5月より着工がなされ、約1年を掛けてこの度の完成に至った。

新事務所（大阪市西区九条1-27-19）は、敷地面積は217・53㎡、延床面積が435・56㎡。鉄骨3階建。外壁はグレーをベースに、一部は企業カラーのブルーで彩られ、先述の企業ロゴと社名看板が、大通りから確認できる3階外壁に夜間発光の電飾タイプであるほか、3階正面外壁及び営業フロアに設置。社屋内では、窓を多くしての採光により全体的に明るい空間となるように工夫を施している。

1階では、入口扉をけると営業フロアがあり来客対応が可能。オンライン会議等もできるモニターを設置したミーティングスペースも設けられている。2階は、経理室と、来客対応用に落ち着



画像は上から新社屋正面、1階と3階の内観

きのある内装で商談がおこなえる応接室などを整備。扉は木目調を採用し、廊下では人々が行き交いやすいように広めとっているほか、天井を濃紺にすることでシックな雰囲気を出し、3階は、給湯室兼食堂で、社員がリフレッシュできるようにカフェを想起させるスペースとなっている。コンセントを多数配置し、さらに約40席の椅子とモニターの設置により、社内および社外を含めたミーティングや、レクリエーションなど多目的な活用がおこなえる空間を実現。

村井社長は新事務所建設について「従来拠点での業務は十分に継続できますが、企業発展の原動力となる社員の働く環境を整備することでモチベーション向上につなげる目的で実施しました。作業効率と福利厚生面の充実を意識しているものであり、今後も計画的に環境を整えて更なるステップアップを図りたい」と語る。

大通りから確認できる新社屋外観

